



京都交通労働組合 第84回定期大会

“創造と挑戦”

～公共交通の頂をめざして～

2012.9.21 於 京都ロイヤルホテル&スパ



・・・力強く団結がんばろう・・・

京都交通労働組合は、去る二〇一二年九月二十一日(金)九時三十分から「京都ロイヤルホテル&スパ」において、門川大作京都市長をはじめとする各界各層を代表する多数のご来賓を迎え「第84回定期大会」を開催しました。冒頭、司会の伴野電車部長から「組織統合を控え、都市交産別で開催する最後の大会となります。今日まで培ってきた精神を土台として、公共サービスを提供する自治体労働者として、まちづくりと一体となった交通ネットワークを推進するため、皆さんの活発な議論をお願いします」と挨拶に立ち定期大会の幕が上がりました。続いて、本来であれば瀬戸執行委員長が「東日本大震災について②交通局の問題について③民間企業とのサービスについて④政治情勢について以上大きく4点に分けて主催者挨拶を述べました。次に大会の仕切り役を務める議長団に、自動車部西賀茂支部亀石代議員・電車部電整支部山本代議員を選出。また、資格審査委員長に電車部駅務支部辻川代議員、大会運営委員長に自動車部錦林支部福田代議員をそれぞれ選出しました。議長団を代表して山本議長は「普段から労働組合は面白い組織だと思っています。役員が個人的に一度集まることもあるかもしれませんが、職種・職場を越えた仲間が年々という組織であるからです」と就任の挨拶を行い、議事進行に入りました。先ずはじめに公私ともに多忙の中、山井和則衆議院議員が民主党政都府連総支部連合会を代表して連対の挨拶に立ち、続いて多くの来賓の皆さまが紹介され、定期大会開催の華向けとして数多くのご祝辞をいただきました。続いて、第一号議案の「私たちが取り巻く情勢」ならびに「二〇一一年度活動報告」さらに「二〇一一年度会計決算報告」が佐田副執行委員長からそれぞれ提案・報告、会計監査報告が自動車部鳥丸支部山崎会計監査委員より提案され、満場一致で承認されました。昼食休憩後、午後からは、第二号議案の「二〇一二年度運動方針」が中谷書記長から提案され、代議員の活発な議論をもとに向こう一年間の運動方針が決定されました。続いて「二〇一二年度予算」等、第九号議案まで本部側から順次提案され、滞りなく承認をいただきました。また、大会スローガンの確認に続き大会宣言(案)が提案され、全員の大きな拍手で決定されました。大会を成功に導いた議長団の亀石議長は、「観光都市京都で働く私たちが、第一印象がとてつもなく大事である。市バス・地下鉄の職員は良いなあと感じていただけに、明日からも頑張らねばならない」と降壇の挨拶を述べ、最後に、瀬戸執行委員長からの「ガンバろう三唱」が声高らかに力強く行われ、第八十四回定期大会を締め括りました。



司会を務めた伴野敏之電車部長



議長を務めた亀石直也氏(山本勇氏)



京都交通労働組合

電話(075)841-0948
発行者 瀬戸高志
編集者 教宣部一同

- ・一 面・
- ・第84回定期大会開催
- ・二 面・
- ・ご来賓の方々のご挨拶要旨
- ・前原誠司衆議院議員メッセージ
- ・北神圭明衆議院議員メッセージ
- ・三 面・
- ・質疑応答
- ・大会来賓者名
- ・四 面・
- ・定期大会に参加して
- ・大会宣言
- ・編集余談

質の高いチームワークの形成と士気の高い職場で、公共交通の頂きをめざす



ご挨拶(要旨) 瀬戸高志執行委員長

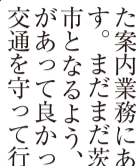
京交第八十四回定期大会の開催にあたりまして執行部を代表し二言ご挨拶申し上げます。連日、冒頭、市民は二言ご挨拶申し上げます。連日、早朝深夜を問わず組合員の皆様に対しまして、心より敬意を表したいと思います。また、公私共々大変お忙しい中を門川大作京都市長はじめ各界各層より多くのご来賓の皆様にご臨席賜り誠にありがとうございます。先ずは、一年半が経過した東日本大震災について触れたいと思います。一万五千人を超える死者に加え、今なお、郷里に戻る事ができず避難生活を強いられている方々、多岐にわたる生活の困難を余儀なくされている方々、多くの方が不便な日常生活を送られています。改めまして心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。昨年は、最近、原発の話題が中心でありましたが、どちらに何とも震災の話題が中心でありました。思いがけず少なくなったように思います。良きにつけ悪きにつけ日本人の性質を表現する「喉元三斗水、腹中六斗水」という言葉が、東日本大震災については、息の長い支援が必要であると痛感しています。私は、過日、被災三県の一つである福島県に行く機会がありました。実際に見聞きした現状を報告させていただきます。街は閑散とした状況のように感じましたし、育ち盛りのお子様の保護者の方からは、福島ナンバーの車で他県へ行くこと相当な差別があったと聞ききました。また、放射線量が親心から当然の如く観光客は皆無に等しく、親心としてせめて子供だけでも避難させた方が金銭的な余裕もなく、家族が離散することは何よりも辛いのが現状で辛抱しているという話も聞くことができています。今、私たちが何をしていいかわからない。瓦礫の処理を巡っては全国で賛否両論の意見が交わされるだけで一向に進みません。私は、同じ日本でも起った大災害という認識に立ち、安全であるという担保に基づいて協力すべきであると思っております。そして、復興のお手伝いをするべきだと考えています。一例として福島県の桃は大変甘く有名ですが、今日、日本人は放射性物質に汚染されていると敬遠されています。しかし、タイの富裕層にはすくなく敬愛されています。同じ日本人として恥ずかしく思います。温泉をはじめ、名勝地も数多く存在し、喜多方ラーメンなど食通の方にもっと喜んできていただけ「福島」に、皆さんも是非一度足を延ばしてみてください。次に交通局の問題に触れておきます。両事業共二〇〇九年に経営健全化団体に指定されて以降、度々なる健全化計画に真摯に取り組み、自動車事業では平成二十三年決算で資金不足比率が二五・九%となり、健全化団体からの脱却も目前に迫ってきました。一方の高速鉄道事業においても、多額の建設費償還できない状況に変わらぬもの、駅ナカビジネスをはじめとした付帯事業等でお客が増え好調に推移し、現金収支の黒字が五十五億円を超えるなど着実に成果を上げ、資金不足比率も五七・八%にまで改善が見込まれています。さらに、箱モノとしてお客様が見込める京都水

族館や中央市場の寿司棟、二年後に開業する鉄道館の建て替え等、問題を抱えながらも京交準組織内の今枝議員の奮闘も寄与し、五万人増客を目標に掲げる交通局にとって追い風になっています。大規模施設の跡地を有効利用する話も進んでいるため、京交は六十周年の時、京町家を守るために京都市心へ心ばかりの寄付にも取り組まれました。近代化する町並みと同時に、京都らしい景観や趣を守っていくのも京都で働く私たちの大事な使命であると考えています。次は少し余談になりますが、交通労働の仲間「ヤマト運輸」さんが運ぶかという点であります。昔は横柄な態度で荷物の扱い方も荒っぽいように感じましたが、皆さんは今はどうでしょうか。研修をしっかりと行っているところもあるでしょうが、気持ちのいい笑顔で接客がほとんどではないでしょうか。荷物と共に感謝の気持ちも運ばれているんだと思います。私は新春の挨拶で「お客様を荷物と思うあなたがお客様です」という表現を紹介しました。ほんのりとした組合員は公共交通の存続をかけた頑張った。心から「ゆとり」を抱けば事故も苦情も激減すると思っております。市営交通一〇〇周年を契機とした本年の一層の磨きをかけていきたいと思います。三点目は自治労との組織統合問題であります。都市交第七十八回定期大会で決定したとおり、来年の六月統合に向けて諸々と課題整理等が進められています。しかしながら、統合後は差別の名残が残り、公営公共サービスに従事する仲間との大同団結により、更なる公共サービスの発展をめざして運動を展開してまいりますのでご協力をお願いします。最後に、今の政治状況であります。国民の期待を一身に背負って船出した現政権も、現状を見ると当時のあの熱狂ぶりは一体何だったのでしょうか。今日までの経過について今更申し述べることは省略させていただきますが、苦言を呈さずにはいられた果てという観点で現状について甘受しなければなりません。東日本大震災が発端となった原発事故等、連日、事後処理のめざましさをメディアに報道され続けましたが、正直、この党が政権をコントロールしていたとしても褒められることなく非難されていたものと思っております。党利党略が優先される政治状況の下、情報発信を巧みに利用した「新党」なるものが各地で産声をあげていますが、ここの京都においては素晴らしい議員ばかりであります。政権交代時に託された国民の熱い思いを胸に抱き、拳一致で困難を乗り越えていきたいと思います。「近いうちに解散」ということではありません。来るべき時には連合の推薦するすべての候補者の勝利をめざして最大限のご協力をお願いします。結びに、本日の大会では代議員の皆さんの活発な討議により、京交一九九一年度活動方針を決定していただきたいと思います。高い志を抱き、公共交通の発展に向け積極果敢に運動を展開することを誓い申し上げます。執行部を代表しての挨拶とします。

ご来賓の方々のご挨拶要旨



川口 大市 京交第八十四回定期大会の開催にお祝いを申し上げます。明治四十五年六月に開業した公営交通も本年一〇〇周年を迎え、今日では一四七万人の市民、そして多くの観光客の足と都として、すべてはお客様のためにと合言葉に、日々努力して頂いていることに感謝いたします。まだまだ経営健全化計画の途中ではありますが、バス事業は昨年黒字を計上し九改革が進んでいます。また、最高のサービスは「事故を無くす」ということ、昨年は三割の事故を減らしていただきました。その結果、苦情は三割減り、感謝の言葉に至っては五割も増えました。本場に嬉しい限りです。京交組合員の皆様には、新年を迎えるにあたりお客様に気持ちよくバスにご乗車いただくため、大晦日にバスをピッカピカにしたい、力強い取り組みに感謝申し上げます。また、大晦日にバスをピッカピカにしたい、力強い取り組みに感謝申し上げます。また、大晦日にバスをピッカピカにしたい、力強い取り組みに感謝申し上げます。



高木 敏雄 京交第八十四回定期大会の開催おめでとうございます。東日本大震災の発生から一年半が経ちましたが、今もなお、避難生活を余儀なくされておられる方もあり、瓦礫の問題も解決には至っておりません。今一度自分たちに何が出来たのか、「絆」を思い出さず時時ではないでしょうか。次に、国家公務員制度改革関連四法案の中で、震災復興の名の下、家公務員だけが先行して実施されました。地方公務員への波及が懸念されています。しかし地方には地方の特色があり、「地方への波及はさせない」と我々は川端総務相と約束したはずで、閣議決定を遵守して頂くように粘り強く訴えていきます。最後に、自治労と組織統合を遵守して頂くように公営交通を地域の公共交通として確立していけるよう大団結しながら新しい歴史を刻んでいきましょう。「都市交」という名前が無くなるのは寂しいですが、新しい組織の中でも我々が頑張ることで「都市交」のアイデンティティが発揮されるはず。京交の皆様も瀬戸執行委員長を先頭に共に頑張りましょう。



細田 隆 第八十四回定期大会の開催をお慶び申し上げます。平素は連合京都が推進する運動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、二月の市長選挙、八月の京都府南側で発生した豪雨に対するボランティアを含めた対応に重ねて御礼申し上げます。連合京都は十月二十六日開催の地方委員会を総括と補強点を提案させていただきました。地方委員会で総括と補強点を提案させていただきました。地方委員会で総括と補強点を提案させていただきました。



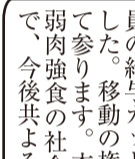
松田 國典 時を同じくして産声を上げた市営交通が水道と同じ一〇〇年というところで、今日まで同じ公営企業として頑張っているところであり、本年の人事委員会報告については、既に市労連ニュースでもお知らせいたしました。一〇〇〇円を超えるマイナスイラスト報告がなされたこと、このようなマイナスイラスト報告については月例給金とごまかすことなく、国家公務員の退職金引き下げや評価制度問題等様々な課題が相まって、私たち公務員に対する攻撃は止むことがありません。しかし、市労連は十一月十二日を最大の山場として、健全なる労使関係の下、働く者の原理原則として賃金労働条件の向上を勝ち取ることをめざします。そのことが良質な事業運営に繋がると思っています。この間、上下水道事業やバス事業の運賃改定を行わず黒字基調に貢献してきたにもかかわらず、組合員から「頑張った私達の賃金が下がるのか」という素直な意見にもう一度向き合いたいと思います。本日は京交第八十四回定期大会開催、誠にありがとうございました。



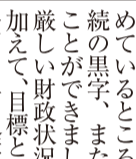
橋本 元 京交第八十四回定期大会が盛大に開催されましたことをお祝い申し上げます。さて間もなく公務労協で「第一八十四回定期大会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。平素より貴組合におかれましては、瀬戸高志執行委員長を先頭に、公共交通の維持・発展・労働運動の推進に日夜献身的なご尽力を賜っており、誠にありがとうございます。深い敬意と感謝の意を表します。現在、我が国は人口減少社会、急速な少子高齢化、限界にきている財政赤字、長引くデフレという四つの制約要因を抱えております。政権交代から約三年が経過する中、いまだ解決途上の課題もございしますが、皆様のお力をいただき、着実に実現できたことも数多くございます。様々なご意見・ご批判は甘受しなれど、改革の方向性は間違っておりません。今後も、日本が抱える制約要因を克服して、国民の皆様が希望の明るい社会を創るために挑戦し続けていきます。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



山井 則 大会の開催おめでとうございます。厳しい状況の中、一四七万人の公共交通として頑張っていることに感謝を申し上げます。皆様にお力をいただいた政権交代が実現して三年が経過しました。マニフェストが思うように達成出来ず、国民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。しかし、着実に変わってきていることを感じています。社会保障を厚くしていただくこともあります。無駄な公共事業をカットして、社会保障を厚くしていただくこともあります。無駄な公共事業をカットして、社会保障を厚くしていただくこともあります。



西村 隆 京交第八十四回定期大会に当たりまして、お祝いの挨拶を申し上げます。日頃、組合員の皆様には、現状、交通におかれたい責任や危機感を共有していただきた業務に励んでいただいていること、またその積極的な取組に感謝申し上げます。そして、「創造と挑戦」というスローガンに、高い志を素直に感じています。今年四月に交通局に戻ってまいりまして、半年が経過いたしました。「安全向上・サービス向上・健全化の推進」の三つの点について、私が在籍していた四年前と比較しますと、本日に改善したと感じております。現在、皆様と共に、増収・増客策やコスト削減策に懸命に取り組んでおり、経営健全化は九年連続の黒字、また、高速鉄道事業についても三年連続の現金収支黒字を達成することができました。しかしながら、依然として経営健全化団体の基準を上回る厳しい財政状況が続いており、特に、地下鉄は莫大な赤字を抱えていることに加え、目標としている一日五万人増客の達成も並大抵のことではありません。一刻も早く経営健全化団体から脱却し、両事業が市民の皆様への信頼に応える安定したものになるためには、今後も相当な覚悟を持って更なる利便性向上と経営の効率化に向けて全力で取り組んでいかねばなりません。二十三年度は、市バスの事故を三割減らすことが出来ましたが、今年度は更に高い目標を掲げたいです。私自身決意を持って、事故削減に向けての取組を進めてまいります。これからは、チームワークや信頼関係を大切に「がんばる公営企業」をめざしてまいります。苦情を減らし、お褒めの言葉を増やすためにも、交通安全の根本である安全とサービスの向上を推進し、また、その頑張る姿勢を見せることでオール京都市の支援も得ながら、健全化を進めてまいります。京交の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



山井 則 京交第八十四回定期大会に当たりまして、お祝いの挨拶を申し上げます。日頃、組合員の皆様には、現状、交通におかれたい責任や危機感を共有していただきた業務に励んでいただいていること、またその積極的な取組に感謝申し上げます。そして、「創造と挑戦」というスローガンに、高い志を素直に感じています。今年四月に交通局に戻ってまいりまして、半年が経過いたしました。「安全向上・サービス向上・健全化の推進」の三つの点について、私が在籍していた四年前と比較しますと、本日に改善したと感じております。現在、皆様と共に、増収・増客策やコスト削減策に懸命に取り組んでおり、経営健全化は九年連続の黒字、また、高速鉄道事業についても三年連続の現金収支黒字を達成することができました。しかしながら、依然として経営健全化団体の基準を上回る厳しい財政状況が続いており、特に、地下鉄は莫大な赤字を抱えていることに加え、目標としている一日五万人増客の達成も並大抵のことではありません。一刻も早く経営健全化団体から脱却し、両事業が市民の皆様への信頼に応える安定したものになるためには、今後も相当な覚悟を持って更なる利便性向上と経営の効率化に向けて全力で取り組んでいかねばなりません。二十三年度は、市バスの事故を三割減らすことが出来ましたが、今年度は更に高い目標を掲げたいです。私自身決意を持って、事故削減に向けての取組を進めてまいります。これからは、チームワークや信頼関係を大切に「がんばる公営企業」をめざしてまいります。苦情を減らし、お褒めの言葉を増やすためにも、交通安全の根本である安全とサービスの向上を推進し、また、その頑張る姿勢を見せることでオール京都市の支援も得ながら、健全化を進めてまいります。京交の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

～メッセージ～

本日は京交労働組合の「第一八十四回定期大会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。平素より貴組合におかれましては、瀬戸高志執行委員長を先頭に、公共交通の維持・発展・労働運動の推進に日夜献身的なご尽力を賜っており、誠にありがとうございます。深い敬意と感謝の意を表します。現在、我が国は人口減少社会、急速な少子高齢化、限界にきている財政赤字、長引くデフレという四つの制約要因を抱えております。政権交代から約三年が経過する中、いまだ解決途上の課題もございしますが、皆様のお力をいただき、着実に実現できたことも数多くございます。様々なご意見・ご批判は甘受しなれど、改革の方向性は間違っておりません。今後も、日本が抱える制約要因を克服して、国民の皆様が希望の明るい社会を創るために挑戦し続けていきます。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本日の、「京交労働組合第八十四回定期大会」のご盛況を心からお慶び申し上げます。また、日頃からのご支援・ご鞭撻に厚く御礼申し上げます。執行委員長瀬戸高志様をはじめ、ご参集の皆様方のご敬意を表しますとともに、本日の定期大会が実りあるものとなりますようご期待申し上げます。結び、貴労組の今後益々のご発展と、本日もご参集の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。平成二十四年九月二十一日 衆議院議員 北神けいろう

祝電およびメッセージ

- 札幌市交通局労働組合
- 函館市交通局労働組合
- 青森市交通局労働組合
- 八戸市交通局労働組合
- 仙台市交通局労働組合
- 高槻市交通局労働組合
- 伊丹市交通局労働組合
- 尼崎市交通局労働組合
- 徳島市交通局労働組合
- 宇部市交通局労働組合
- 松江市交通局労働組合
- 北九州市交通局労働組合
- 佐賀市交通局労働組合
- 佐世保市交通局労働組合
- 熊本市交通局労働組合
- 鹿兒島市交通局労働組合
- 都市交東北・北海道地方本部
- 自治労 京都府本部
- 自治労 京都市職員労働組合
- 京都市水道労働組合
- 京都市学校給食職員労働組合
- 阪急電鉄労働組合
- 京阪電鉄労働組合
- 近畿日本鉄道労働組合
- 近畿日本鉄道労働組合
- 阪急バス労働組合
- N.T.T労働組合京都総支部
- 電機連合京都地方協議会
- パナソニック半導体労働組合半導体支部
- 村田機械労働組合
- J.A.M. 京滋
- J.エス.ユアサ労働組合
- 日本郵政グループ労働組合京都連絡協議会
- 三菱自動車工業労働組合
- 全農労働組合近畿地方本部
- 大阪ガス労働組合京滋ブロック
- 弥栄自動車労働組合
- 全日本港湾労働組合日本海地方舞鶴支部
- 関西電力労働組合京都地区本部
- 京都地方交通運輸労働組合協議会
- 京都労働者福祉協議会
- 社団法人京都勤労者学園
- 近畿労働金庫京都支店
- きらら保険サービス株式会社関西支店
- 衆議院議員 前原誠司
- 衆議院議員 泉 誠
- 衆議院議員 北 圭
- 衆議院議員 松 孝
- 参議院議員 松 下 真
- 参議院議員 藤 裕 蔵
- 長岡京市議会議員 進 之
- 草津市議会議員 大 正 美
- 京都府知事 山 田 啓 二

質疑応答

第1号議案

九条支部 橋本 充代議員

Q 若年嘱託期間の短縮が実現し、すばらしい成果だと思ふ。ただ、最終目標は制度そのものの廃止と理解しているし、また期待もしている。また、五表から一表に移行についても自動車に関して運転士のまま移行できる制度を確立して頂きたい。



九条支部 橋本充代議員

A 期間短縮に関する評価をいただき感謝する。若年嘱託制度については、京交としてあくまで廃止すべきであると考えている。これからは1歩ずつ進めていきたい。また、5表から1表への移行問題については、経営健全化期間中ということも考慮し、慎重に進めてまいりたい。休日数増加の展望を伺いたい。年間労働時間をどうするかという問題に繋がる。連合が掲げる「年間総労働時間一八〇〇時間」が目標である。そのためにはまず、超勤の縮減が問題となる。どちらにしても人を増やすしかないことになる。

Q 大会スローガンは時代とともに変わるが、昨年度のスローガンには記載されていた「労働時間の短縮」「大増税反対」という文言が無い。また、不公平税制は正が進まない中、消費増税が実施されると経営健全化団体からの脱却を邪魔しないか？

A スローガンについては、連合の掲げるものに合わせている。労働時間の短縮については、連合の掲げる「ディーセントワーク」並びに働くことを軸とする安心社会の構築という趣旨に包含され、不公平税制は正や大増税反対についても「第三次税制改革基本大綱」に示されているとおり、「社会保障と税の一体改革」を



九条支部 田中正則代議員

前提に増税について容認していることから、その方針を単組としても支持するという理解をお願いしたい。消費増税は健全化計画において足かせになることは予想されるが、事業主である甲側に最善の方策を検討してもらいたいと思う。判明次第お知らせする。



中谷文明 書記長

Q 原案については組合の態度を明確にすべきではないか？

A 議案書の中で「脱・原発」に向けて、と提案しているが、直ちに原発に依存しない社会というのは難しい。徐々に代替エネルギーへシフトする「緩やかな脱・原発」という態度であると理解願いたい。

Q 議案書5ページの京都市交通局の現状における文章表現の意図を教えてください。

A 健全化団体に該当する交通局の現状を表すには、数字で表現する方が、明白かつ適当であると判断したからである。

Q 九条支部 橋本 充代議員



橋本 充代議員

Q 退職金の件であるが、国家公務員は勤続三十五年以下について、同様に支給月数は引き下げられるのか？

A 詳細については判明次第、お知らせしたい。昨年度の独自要求で一度は提出した「五表を廃止し一表へ統合する」という項目については、要求することは自由であり、今後進めていただきたい。労働組合である以上要求を掲げるのは当然であるし、存在意義にも関わることである。ただ、健全化団体である現状も考慮し、今後の進捗状況も踏まえ、タイムリングを見計って要求していきたい。

決算並びに監査報告

九条支部 田中正則代議員

Q 賃金参考資料の早期発行をお願いしたい。



山本 保 自動車部長

A 現在、鋭意作成に努めているが、もう暫くお待ち頂きたい。Q 部会財産の本部繰入会計は基本財産基金会計が正当か？

A 公認会計士の判断を仰ぎ、適切に処理した。Q 九条支部 橋本 充代議員

Q 運営費のオルグの意味は？

A 役員の実行を支える費用のことである。Q 九条支部 田中正則代議員

Q 「やたらと余暇を増やし」という表現は変更していただきたい。その表現に意図をおいているわけではない。不特定多数の目に触れる議案書ということも理解していただきたい。休日数増等の問題については、独自要求で対応している。Q 職場懇談会が開催されない中、組合及び組合活動が如何か、を知らない若い職員が大勢いる。組合員と執行部の意思疎通を図るための具体的な方策を考えているのか？

A コミュニケーション強化の観点で、この間、支部長を執行委員に格上げし月二回の委員会を開催していった。また、中央委員会や政策担当者会議も開催し、情報伝達については格段に良くなっている。理解している。現在とは昔と違い職免での会議開催ができず、組休という点で費用もかかるという点も理解願いたい。「ここまでやれば満足」というのも、無いが、本部主催の学習会、自動車部の実施している新人研修や青年女性委員会がセミナー開催等に取り組み、現実に「やってほしい」ことに対しての理解をお願いしたい。

Q ホームページが古く更新されていない。もっと活用すべきではないか？

A 現在、教宣部を中心に作業を進めている。パソコンは勿論のこと、スマートフォン等にも対応した組合員参加型のHPを構築し、新年からの運用をめざしている。

Q 予算編成の上で、繰入金金の在り方について考慮しなければならぬのではないかと。A 収支均衡が大原則ではあるが、組合活動を後退させざるわけにいかない。引き続き、適正な財政基盤の構築に向けて努力していきたい。

Q 第五号議案については時期尚早ではないのか。また、本当に実現できるのか。また、本当にであれば、全員に入っていたいただきたい。組織化された時のメリットを全面にアピールしてはどうか。A タイミングとしては尚早ではない、むしろ遅すぎたくらいである。京交としては、来年の春に再任用制度を実現してもらうための準備を打つことも重要であると考えているが、まずはこの議案の承認を得ない限り次の段階に進むことができない。問題解決には広く意見を聞き、より良い組織拡大の制度完成をめざしていきたい。



～大会参加代議員～

～大会来賓者名～

Table listing names of guests and their affiliations, including various unions and organizations like 京都市、京都府、連合京都, etc.



福田太視 大会運営委員長



辻川啓司 資格審査委員長



山崎 貢 会計監査委員



～大会に華を添えた花～

定期大会に参加して



烏丸支部
種田 尚樹

定期大会に初めて参加させて頂き、これからの課題がわかりました。経営健全化から脱却の為に、さらなる増客、増収に向け、『公共交通の頂をめざし』活発に京交活動をしていきたいと思いました。

西賀茂支部
元川 浩三

民主党の国会議員さんが少なく活気がないような感じがしましたが、挨拶の内容からみなさん一致団結して行くように思われました。今回、この大会で決まった京交の運動方針をこの先も守って行けるように頑張っていきたいです。

本局支部
森山 大輔

今回、初めて定期大会に参加させていただき、議案審議等の際に、様々な方のお話を伺うことができ、貴重な経験をさせていただきました。今後、京交の一員として、向上心を持って、日々の業務を遂行していきたいと思

九条支部
山本 雄基

労働組合とは、一人ひとりがバラバラでは出来ないことを、組合を軸に、みんなの力を合わせる事によって、要求を実現させて行くことが、組合の基本的だと思えます。そして、要求を実現していく上で、定期大会という場は、改善してほしい所を意見したりして、その年の基本的な方針を決定する大切な場だと思いました。今年も、全議案可決されましたが、今後とも働く環境を維持、向上させるだけでなく、身近な職場での課題解決に、取り組んでほしいです。皆さん、一致団結して「頑張ろう！」

梅津支部
高橋 康裕

初めて定期大会に参加させて頂きました。お忙しい中、門川市長も挨拶に来られて、緊張感のある中、大変活気のある定期大会が行われていました。瀬戸委員長からの挨拶で力強い言葉に勇気ももらい、一人一人が努力すればもともと市民の皆様が愛される京都市交通局になると感じました。

錦林支部
田中 勝明

参加は二回目ですが、門川市長をはじめ、たくさんの来賓の方々をお見受けして改めて盛大な大会と思いました。活発な質疑もあり、意義のある大会でした。

電整支部
黒川 陽平

定期大会を通じて他の支部の方たちとの交流や意見交換が出来る貴重な機会であると思えます。また問題提起など活発な議論が交され、迫力に圧倒されました。是非、今後の組合活動の参考にした

駅務支部
前田 憲二

今回で十二回目の参加となりましたが今大会も無事盛大に執り行われ、又末永く京交が繁栄していけるよう今後も組合活動に邁進して行こうと決意を新たにしました。今日この頃であります。少しでも私達の職場を繁栄させるため現場により一層発信して行きますので皆さんで頑張ってください。

東西線乗務支部
鵜子 浩史

勤続十七年余りが過ぎ、まだまだ折り返し地点です。今まで京交の先輩方や後輩の皆様には大変お世話になりました。これからも、このかけがいのない職場を守るため、一致協力して頑張っていきたいと思

烏丸線乗務支部
荒木 彰一

今回で二回目の参加になりますが、京交を取り巻く環境や、組合活動の本質など、考えさせられることが多く、大変勉強になりました。

大会宣言

私たち京都交通労働組合は、ここ「京都ロイヤルホテル&スパ」において第84回定期大会を開催し、過去1年間の活動を総括するとともに、私たちの職場を守るための向こう1年間の運動方針を決定した。

日本は今、東日本大震災からの復興、原発事故を起因としたエネルギー政策や領土問題、社会保障と税の一体改革、TPP、米軍基地問題等、山積した課題を抱えた非常事態に直面している。このような国難の中であっても、現実から目を背けることはできず、世界の中の日本の立ち位置を意識した対応と決断が求められている。

今日ほど日本の未来を語る上で、政治の役割が重要な時期はない。国民目線の原点に立ち返り、あらゆる施策を前進させることと同時に、強い行動力と発信力を行使することで国民の負託を受けた役割を果たすべきである。一方で、我々国民ひとりひとりも、未来の子どもたちに「安全・安心」な国を引き継ぐために、社会的責任を果たすべく不断の努力の下、行動を起こさなければならない。

公共交通を取り巻く環境は、依然として民間移譲や事業廃止が各地で押し進められ、行政サービスの一翼を担う重要な存在であるにもかかわらず、「公営=非効率」ということだけが先行し、地域の足を守る使命が脅かされている。このような状況下で、我々には、国民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的とする「公共サービス基本法」の精神との相乗効果を醸成させる運動の中で、公営の存在意義・存在価値の重要性を広く認知させることが、今、求められている。同時に、より一層高い使命感と責任感を持った意識改革を断行し、「安全・安心・信頼」の3拍子揃った「強い市バス・地下鉄」の構築で、お客様に必要とされ、求められる存在にならなければならない。

私たち京都交通労働組合は、いかなる状況下になろうとも、質の高いチームワークの形成と士気の高い職場風土の形成に向けて全力で取り組み、引き続き信頼される「市バス・地下鉄」ブランドの構築に向け邁進する決意である。市民の財産並びに生活交通の核である公共交通が多額の「ステークホルダー」に支持され、財政健全化団体からの早期脱却を実現し、未来永劫京都の街を走り続けるため、来たるべき産別統合を見据え、固い絆で結ばれた仲間と共に奮闘し、組合員と家族の生活を守ることに全力を傾注する決意である。

社会情勢の変化に柔軟に対応し、「創造と挑戦」～公共交通の頂をめざして～、京交一致団結し、全力で闘い抜くことをここに宣言する。

2012年9月21日

京都交通労働組合
第84回定期大会

第84回 定期大会 表彰者 該当者なし



・・・定期大会の取材を担当した教宣部一同・・・

編集余談

一年間の活動を振り返ると同時に、向こう一年間の方針を立てる重要な一日。「十人十色」組合員一、二六三人の思いは様々である。ただ、定期大会という節目の日に、組織としてめざす方向性が確認できたことは、「絆」の再確認が出来たことに間違いはない。当たり前だが、今日からは一人ひとりの行動が「公営交通」の未来を左右する。顧問団で京交の歴史を積み上げてこられた、故梅林等氏に恥じぬよう、いつまでも天国で見守っていただくためにも「やる」しかない。さあ！明日に向かってガンバろう！ (S・S)